

会議録

会議の名称	令和4年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和4年8月4日（木） 午後7時から午後9時
開催場所	田無庁舎502会議室
出席者	委員：（対面）濱崎副委員長、笠原委員、遠野委員、亀田委員、 （オンライン）新藤委員長、藤井委員、中山委員、中野委員、 青木委員、森委員 事務局：文化振興課堀課長、文化振興課文化振興係 山本係長、文化振興 課文化振興係 神田主事、西東京市第3期文化芸術振興計画策定 支援業務委託事業者（株式会社創建東京本部：高橋副主任研究 員、砂田研究員）
議題	1 西東京市第3期文化芸術振興計画概要等について 2 文化芸術に関するアンケート調査（案）について 3 市内の活動団体及び子ども等へのヒアリング（案）について 4 その他
会議資料の 名称	資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱 資料2 西東京市文化芸術振興推進委員会傍聴要領 資料3 令和4年度西東京市文化芸術振興推進委員会委員名簿 資料4 西東京市第3期文化芸術振興計画策定スケジュール（案） 資料5 西東京市文化芸術に関する市民意向等 調査概要 資料6 18歳以上の市民を対象としたアンケート調査（案） 資料7 子どもを対象としたアンケート調査（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて、資料1を用いて文化芸術振興推進委員会の任期について説明。 ・資料3を用いて、委員改選により委員より自己紹介。 ・西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱第5第1項に基づき、互選により委員長を新藤委員とすることで全会一致。 <p>【以下、新藤委員長にて議事進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同要綱第5第1項に基づき、互選により副委員長を濱崎委員とすることで全会一致。 ・事務局にて、参考資料を用いて文化芸術推進委員会の運営について説明。 ・資料2を用いて、令和4年度第2回～第6回文化芸術振興推進委員会の傍聴人の定員を5人とすることで全会一致。 <p>2 【議題1】西東京市第3期文化芸術振興計画概要等について</p>	

・事務局にて、資料4を用いて西東京市第3期文化芸術振興計画の概要及び策定に係る主なスケジュールを説明。

○委員長：

・事務局からの説明について、質問等はあるか。

○委員：

・西東京市の人口20万人に対して、アンケート調査の対象者数を18歳以上の市民1,500人程度、児童・生徒1,000人程度としているのはなぜか。

○事務局：

・文化芸術振興計画以外の個別計画とのバランスを鑑みて対象者数を決定している。

3 【議題2】文化芸術に関するアンケート調査（案）について

・事務局より、資料5～資料7を用いてアンケートの調査目的、対象者、実施方法、スケジュール等について説明。

○委員長：

・事務局からの説明について、意見等はあるか。

○委員：

・資料6問1について、性別はLGBTQに配慮し、男性、女性、無回答の他に「その他」も選択肢に入れた方が良いのではないか。

○事務局：

・その他も無回答に含めることとし選択肢を設けているが、選択肢について検討する。

○委員：

・資料6設問2について、70歳以上の選択肢を一つにするのではなく、80歳代や90歳代を選択肢に入れる等、細分化した方が良いのではないか。

○事務局：

・選択肢を「70歳代」、「80歳代」、「90歳以上」とする。

○委員：

・資料6及び資料7について、設問により「特になし」という選択肢があるが、課題がないという意味で「現状のままで良い」という選択肢に置きかえることもできるのではないか。

○事務局：

・各設問の趣旨に合うかどうか確認し、検討する。

○委員：

・資料7について、ルビを付けている基準は何か。

○事務局：

・小学5年生が学習していない漢字にルビを付けている。

○委員：

- ・資料6問9について、選択肢にある「生活文化」は分かりづらいのではないかと。
- 事務局：
 - ・より分かりやすい内容に検討する。
- 委員：
 - ・資料7問7について、選択肢にある「歌舞伎や落語などの芸能」は「古典芸能」とした方が良いのではないかと。
- 事務局：
 - ・資料6と表記を合わせているため、「芸能」としている。
- 委員：
 - ・資料7問7について、選択肢にある「音楽」の例示がコンサートや合唱のみでは分かりづらいのではないかと。
- 事務局：
 - ・子どもにとって分かりやすい例示を検討し記載しているが、よりイメージがしやすい例示を検討する。
- 委員長：
 - ・資料7問9-1について、選択肢にある「体験やワークショップなどで楽しかったから」については、「イベントや体験などで楽しかったから」とした方が分かりやすいのではないかと。
- 事務局
 - ・選択肢について修正する。
- 委員：
 - ・資料7問2について、選択肢9では「スマートフォンやパソコン、テレビなどの動画を視る」とあるが「視る」という表現をここだけ用いる意図は何か。
- 事務局
 - ・「見る」に修正する。
- 委員：
 - ・資料7問6について、子どもには答えづらいのではないかと。
- 事務局：
 - ・答えやすい内容に検討する。
- 委員：
 - ・資料7問7-1、7-2について、問7で「1」から「9」を選んだ方のみ回答する方法は、小学生にとって分かりづらいのではないかと。
- 委員長：
 - ・学校に対する依頼時に設問の補足をする等の工夫が必要ではないかと。
- 事務局：
 - ・より分かりやすい内容に検討する。

- 委員：
 - ・資料7問7について、選択肢に「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」があるが、様々な表現や媒体が増加している中で映画や漫画・アニメのみをメディア芸術とするのは不十分ではないか。
- 事務局：
 - ・選択肢の内容について検討する。
- 委員長：
 - ・資料6問9の選択肢「メディア芸術」について、問8の直接鑑賞と差別化を図り、問9ではメディアでの鑑賞と絞り込んでいるにも関わらず、この選択肢を設けてしまうと趣旨が矛盾してしまうのではないか。
- 事務局：
 - ・内容を整理して修正する。
- 委員長：
 - ・資料6「3文化的な活動について」にある注釈に「学校（授業・生涯学習講座・ワークショップ）での体験は含みません」とあるが、18歳以上の市民を対象とするアンケート調査にこのような記載は不要ではないか。また、生涯学習講座は学校での体験に含まれないのではないか。
- 事務局：
 - ・内容を整理して修正する。
- 委員：
 - ・資料6問19について、選択肢の「イベント等のオンライン配信の強化」はコロナ禍の現在における重要な課題であると考えため、設問として独立しても良いのではないか。
- 事務局：
 - ・内容について検討する。
- 委員長：
 - ・資料7問2について、回答を1つに絞るのは難しいのではないか。複数回答ができるようにしたり、優先順位をつけて回答してもらおうといった方法に見直すべきではないか。
- 事務局：
 - ・3つまでの複数回答とする。
- 委員長：
 - ・資料7問3について、設問の意図はどのようなことか。文化芸術との関係性が分かりづらいのではないか。
- 事務局：
 - ・資料5にあるとおり、設問3は「責任感・挑戦心・自己肯定感など」に関連する設問である。文化芸術に興味関心があるほど、自己肯定感などが高い傾向があることから、クロス集計により子どもを対象として文化芸術の取組の意義や効果を把握したいと考えている。また、文化芸術が子どもの成長に効果があることも把握したいと考え

ている。

4 市内の活動団体及び子ども等へのヒアリング（案）について

- ・事務局より、資料5を用いてヒアリングの調査目的、対象者、スケジュール等について説明。

○委員長：

- ・事務局からの説明について、質問等はあるか。

○委員：

- ・ヒアリング調査の対象者に「FM西東京」を加えるのはどうか。

○事務局：

- ・検討する。

○委員：

- ・ペDESTリアンデッキの活用について、管理者及び所管課はどこか。

○事務局：

- ・管理者は市で所管は道路課である。ペDESTリアンデッキの活用については、庁内において整理を進めていきたいと考えている。

○委員：

- ・対象者である「その他施設等」の項目案に、障害者アートの手法や効果と課題とあるがどのような意図か。手法より現状についてヒアリングした方が良いのではないか。

○事務局：

- ・対象として考えている団体が多摩六都事業の業務委託を受けていることから、事業をどのように行っているのか、事業を通じた効果や課題等をヒアリングしたいと考えている。

○委員長：

- ・市民文化祭等を通じて様々な市内の活動団体との関りがあると思うが、ヒアリングを通じて様々な団体等の意見を把握することは可能だろうか。

○副委員長：

- ・資料5の示されている対象者を見る限り、様々な分野の団体等からヒアリングを実施することになっていることから、多くの意見を把握することができるのではないか。

○委員：

- ・共通の項目として、文化の香りあふれるまちという将来像に向けて、必要なことや課題等についてヒアリングした方が良いのではないか。

○事務局：

- ・共通の設問としてヒアリング調査を実施する。

5 【議題4】その他について

- ・今後の文化芸術振興推進委員会の開催時間を午後5時からとすることで全会一致。
- ・事務局にて、次回の文化芸術振興推進委員会（10月上旬頃）について説明。

6 閉会

以上